

祝！ 2005年度新入生は722人

今年も全国から新入生を迎えた。その数722人(男子485人、女子237人)。入試種別内訳では、一般入試が424人、指定校推薦107人、協定校推薦3人、スポーツ推薦30人、帰国生徒入試8人、外国人留学生入試8人、AO 選抜入試60人、高等部推薦80人、大学入試センター試験利用入試6人となっている。一般入試の実質競争倍率は4.8倍で、昨年の4.1倍を大きく上回る数字。合格者上位高校ベスト5は履正社(大阪)、星陵(兵庫)、長田(兵庫)、豊中(大阪)、加古川西(兵庫)の順。

(数字は4月2日現在)

外国人留学生3カ国から8人

国籍別ではインドネシア1人、イギリス1人そして中国6人となっている。3月25日には「商学部外国人留学生懇親会」が開かれ、学部スタッフや先輩留学生らと早速に交換を行った。

成績優秀卒業生を学部表彰

3月18日に2004年度秋学期卒業式が行われ、商学部から673人(大学院進学による**早期卒業2人**を含む)が巣立っていった。この中で学業成績優秀の10人を商学部で独自に表彰し、深山 明学部長から記念のメダルが授与された。また、成績トップで卒業式総代となった重森早苗氏と席次2番の長谷川弓子氏には併せて同窓会賞が贈られた。他の8人は以下の各氏。

兼森由果、横山美寿々、岡本健司、野木涼子、加地 允、三谷知子、源代真二郎、松浦あゆみ。この他、外国人留学生学業成績優秀者として何艶氏、研究・専門職コース生として山田朝絵氏がメダルを授与された。

【ことば：早期卒業制度】 本学大学院商学研究科または経営戦略研究科への進学希望者に対し、「早期卒業制度」を設けており、一定の成績を修めた場合3年で学部を卒業し大学院へ進むことができる。詳細は『学習と履修の手引き』参照。

公認会計士2次試験現役合格者も表彰

また、現役で公認会計士2次試験に合格した武本柄徳氏(当時4年生)、山辺泰匡氏(当時3年生)の2人にも商学部からメダルが授与された。

検定・資格で210人が単位修得

2004年度に検定試験、資格試験合格によって学部の単位を修得した商学部生が延べ210人に達した。簿記や英語等の語学検定、ファイナンシャルプランニング技能などの各種試験合格者に対し、商学部では関係科目の単位認定を行っているが、この制度による単位認定者数は年々増加している。教務主任の小菅正伸教授は、「商学部ではカリキュラムにとらわれることなく、幅広く知識・技能を身につけていくことを奨励している。この他にも海外留学での単位認定制度などがある。どしどしチャレンジして欲しい!」と呼びかけている。

『BUSINESS WINGS』第3号発行

学生と教員とが合同で編集委員会を構成し、商学部の研究活動を中心にレポートする研究誌『BUSINESS WINGS』の2004年度版が3月14日に完成、まず卒業生に配布された。今号は、各ゼミの優秀論文の要旨、留学体験記、自由投稿論文など幅広い話題が掲載されている。在学生には28日から配布されている。

税務会計など主題に「寄附講座」開講

「国際社会で活躍するビジネス・パーソンの育成」が商学部の教育目標だが、そのためには机上の理論だけでなく実際の企業行動、経済の動きをリアルタイムに把握、理解する必要がある。商学部では経済界に協力を要請して、ビジネスの最前線の動きを伝える「商学部寄附講座」を

開講している。今年度も日本税理士会連合会、野村證券グループ、読売新聞大阪本社、ダイハツ工業、日本経済新聞社大阪本社の5団体から講師が派遣され、「税務会計と税理士制度」「資本市場の役割と証券投資」他をテーマに講義が展開される。開講時期などの詳細は『大学要覧』『授業時間割』を参照。

英語中期留学に7人の参加が決定

2005年度英語中期留学（略称 SSEA）の商学部からの参加者が、次のように決定した。

春学期は男女各1人の計2人、秋学期は男子3人、女子2人の計5人で、すべて2年生。カナダのマウント・アリソン大学で、1週間に25時間から30時間の授業という英語の集中学習と外国での実生活を組み合わせた3カ月半のプログラムに取り組む。

新入生対象パソコン講習会開く

昨年度延べ387名の参加者を集めた新入生対象パソコン講習会が、今年度も4月5日から7日にかけて、教学補佐らを講師に開催される。会場はD号館302号教室他で、プログラムは「パソコン・Web 操作の基本」「エクセル」と「ワード」の指導。基本コースは全員受講が可能（学生番号により日時指定）で、その他のプログラムは商学部事務室へ申し込むシステムになっている（詳細は「商学部掲示板」を参照）。

便利情報<商学部ネット掲示板>

URL: <http://www-sba.kwansei.ac.jp/~office>
で、授業中試験に関する情報や成績照会
手続など履修・成績関連情報等を見ることが
できる。

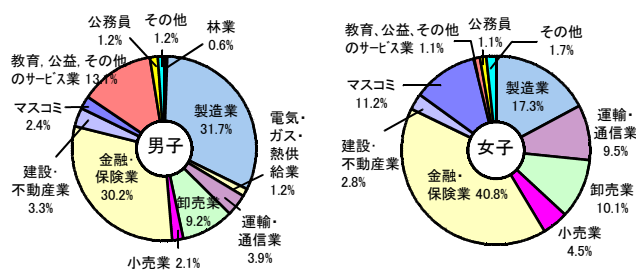
男女とも約70%が巨大・大企業へ 2004年度商学部生の就職結果

2004年度就職状況の概況がこのほど就職部でまとめられた。

それによると商学部生の就職状況は、男子では従業員5千人以上の巨大企業に33.3%、1千人以上の大企業に39.8%、5百人以上の中企業に7.6%が就職。女子では同40.2%、29.9%、12.6%となっている（教職員・公務員を除く）。

業種別就職状況は下表のとおりで、就職部では「前年比38%増の求人数を反映し好調な結果」と分析しており、この傾向は2005年度も続くとの見通し。なお、詳細は5月に発表される予定。

業種別就職状況



8教員が経営戦略研究科へ移籍

4月1日から経営戦略研究科が開設されたことに伴い、商学部から以下の教員が移籍した。

中西正雄教授、マーティン コリック教授、山本昭二教授、ジョン ホング教授、新庄浩二教授、平木多賀人教授、定藤繁樹教授、児島幸治専任講師。

ただ今、海外留学中です

福井幸男 教授

2004年10月～2005年9月
アメリカ：セントジョーンズ大学
研究テーマ：ベンチャービジネスの研究

藤沢武史 教授

2005年4月～2005年9月
アメリカ：テンブル大学
研究テーマ：グローバル・マーケティング

阪 智香 助教授

2003年10月～2005年9月
オーストラリア：オーストラリア国立大学
研究テーマ：環境会計の歴史的研究

山口隆之 助教授

2004年9月～2006年8月
フランス：リヨン リュミエール大学
研究テーマ：企業間関係の日・米・欧国際比較研究

ただ今、国内留学（特別研究期間）中です

岡田太志 助教授

春学期中
研究テーマ：保険事業の将来像の研究
ー市場と組織とコーポレートガバナンスー

田中裕幸 助教授

春学期中
研究テーマ：自然言語統語計算のアルゴリズムの研究

2005年度の執行部を紹介します

相談・提案など、どんなことでも気軽に声を掛けてください。

学部長	深山 明教授
教務主任	小菅正伸教授
教務副主任	新倉貴士教授
学生主任	森本達夫教授
学生副主任	地道正行助教授
事務長	岡崎秀作
事務主任	藤原栄子 寺島 寛